

ほけんだより

短い梅雨も明け、暑い日が続いています。自然の風とエアコンを上手に使い分けながら、暑い夏を元気にいっぱい乗り越えたいとおもいます。気温があがると、体内の水分が失われます。たくさん汗をかいた時だけでなく日頃から水分補給の習慣をつけましょう。また、今月からプール遊びも始まります。ご家庭でもお子さんの頭の“シラミ”チェックをお願いします。
(6月の感染状況・・・RSウィルス1名、溶連菌感染症3名)

ヒトメタニューモウィルス感染症

ヒトメタニューモウィルスが呼吸器に感染して起こる病気です。

感染率・・・主に乳児・小児が感染します。生後6カ月前後から患者の発生が見られ、10歳くらいまでにほぼ100%が感染すると言われています。

感染経路・・・飛沫・接触
症 状・・・潜伏期間は4～6日で、喉の痛み、咳、発熱、鼻水が現れます。咳は、1週間前後続く事が多いようです。重症化すると症状が気管支や肺にまで及び、喘鳴や呼吸困難が起こります。小児Jでは、急性中耳炎を併発する事もあります。ヒトメタニューモウィルスに対する治療法はまだなく、保温・安静を保ち、解熱薬や咳止め薬、痰切り薬などを用いた対症療法が中心となります。脱水に陥らない様にすることも大切で、重症化しなければ、1週間程度で症状は改善されます。

注意

アタマジラミに注意

アタマジラミは人の髪の毛に寄生して、頭皮の血を吸うのが特徴。かゆみと炎症が起こります。感染力が強く、清潔にしていなくてもうつてしまいます。

アタマジラミを チェック!

- 卵は細長い円形。髪の毛の根元にへばりついてなかなか取れないので、フケとは違うことがわかります。
- 後頭部や耳の後ろの生え際などに卵がないか、髪をかき分けて丁寧にチェックして。

シラミを見つけたら早めの駆除を!
放っておくとどんどん増え、周りにうつてしまいます。



今月から プール遊びが はじまります!

楽しく安全に遊べるよう、ご家庭でもチェックをお願いします。

- ①体温チェック
- ②朝ご飯はしっかり食べてますか?
- ③十分に睡眠をとってますか?
- ④シラミの成虫や卵はありませんか?

※水いぼ・とびひなどの皮膚疾患や中耳炎・結膜炎などがある場合はプールがはじまる前までに直しておきましょう。

★プール入水時の可否の連絡は、
ゴドモンでお願いします。

かゆみのある湿しんは 「とびひ」かも

虫刺されや湿しんなどで傷ついた肌を汚れたつめでひっかくと、傷口に細菌が感染して「とびひ(伝染性膿痂疹)」になります。うみをもったような水ぼうがができ、強い痒みが出ます。かゆいからといってひっかくと大変! 水ぼうが破れて中の液が付いた所に、とびひがどんどん広がってしまうのです。水ぼうを見つけたら、つめでひっかかないようにガーゼで覆い、受診しましょう。

ぼくたちのつめも、
忘れずに短く切つてね



チャドクガ皮膚炎 (毒針毛による毛虫皮膚炎)

虫による皮膚炎

ドクガ類（ドクガ、チャドクガ、モンシロドクガなど）の幼虫には10万本以上の微細な毒針毛があり、これが成虫の尾端部にも付着している。

好発時期 ▶ 5～10月頃（幼虫は5～6月頃と8～9月頃に、成虫は6～7月頃と10月頃に出現）。

好発場所 ▶ 幼虫はチャ、ツバキ、サザンカなどの葉を食べるため庭や公園の植え込みなど。灯火に飛来する成虫によっても被害を受けることがある。

原因 ▶ 毒針毛に触れた時に注入される毒成分に対するアレルギー反応。

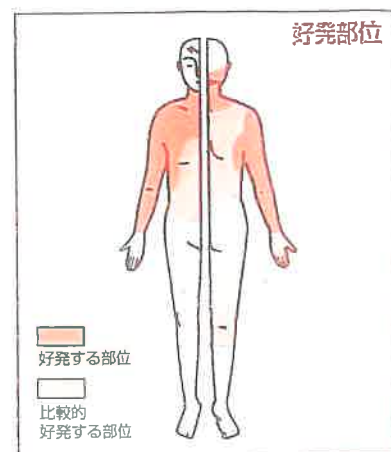
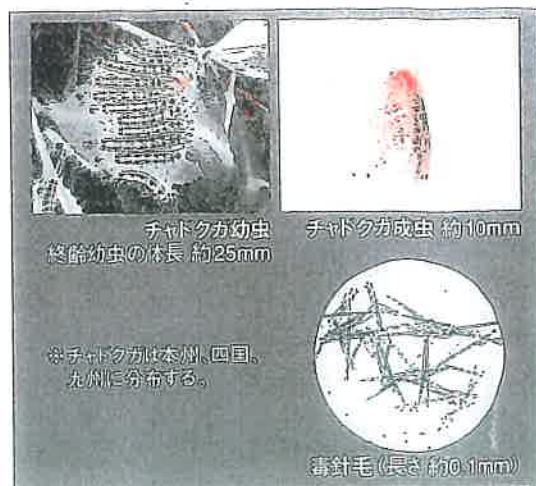
好発部位 ▶ 頸部、上肢などの露出部位のほか、背部、腹部などの被覆部。

症状 ▶ 接触して1～2日後にかゆみの強い紅斑、丘疹が多発する。直後から激しいかゆみを伴う紅斑、膨疹を生じる例もあり、個人差が大きい。



チャドクガ皮膚炎

皮疹の分布が左右非対称で、集簇部と散在部が認められることが多い。毛虫に接触したことに気づいていないケースが多いので、留意する必要がある。



- 鑑別** ●
- 急性蕁麻疹との違い 膨疹多発の初期症状が似ているが、毛虫皮膚炎では皮疹の分布が偏る。急性蕁麻疹では通常、数時間以内に皮疹が消褪するので経過を観察。
 - 帯状疱疹の初期との違い 帯状疱疹の初期の場合、紅斑性丘疹が狭い範囲（とくに左右いずれかのみに）に集中し、痛みとかゆみの混在する例では鑑別困難である。皮疹の分布が神経支配領域に一致するか、皮疹部の局所知覚異常（過敏あるいは鈍麻）がないか、個疹に中心臍窩を有する水疱がないか、などを観察。
 - 水痘や中毒疹との違い 初期の臨床像では鑑別困難な症例がある。皮疹の分布や経過、個々の皮疹の性状などから判断。

- 治療** ●
- 毒針毛接触直後→セロハンテープを用いて皮膚に付着した毒針毛をできるだけ除去。さらに、よく泡立てた石鹸をつけてシャワーで流す。（接触直後の患部搔破は、毒針毛をより多く、より広範囲に刺入させて増悪因子となる）
 - 皮疹→強いランクのステロイド外用薬を塗布。
 - 症状が激しい→抗ヒスタミン薬とステロイド薬の内服を併用。

日常の対策 ● ツバキやサザンカの植栽場所ではチャドクガ幼虫に注意する。触れた場合、毒針毛接触直後の初期対応を行うことに加えて、着衣の十分な洗濯を行う。葉の裏で越冬する卵を除去したり、発生の初期に幼虫駆除を行ったりするのが効果的である。